

2024年1月26日
コンビ株式会社

代表取締役社長:小堀 英次

〒111-0041 東京都台東区元浅草 2-6-7

TEL: 03-5828-7607 FAX: 03-5828-7662

大人用ベッドで赤ちゃんとの添い寝は控えて！
避難所に赤ちゃん用寝具を持参する人はわずか 7.8%
コンビウイズ、阪神淡路大震災から 29 年の神戸市へ赤ちゃん用段ボール製ベッドを寄贈

令和6年能登半島地震で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

ベビー用品メーカーのコンビ株式会社の100%子会社で、お子さまとの外出支援事業を行うコンビウイズ株式会社(本社:東京都台東区 代表取締役社長:松浦康詞)は、株式会社危機管理教育研究所代表の国崎信江氏の現地活動を通じて、赤ちゃん用段ボール製簡易ベッド「ベビーにこつ」を能登半島地震の避難所でご使用いただけるよう務めました。最短で1月3日に3床の設置と、供給経路確保の壁に当たり、災害前に備蓄いただく重要性を痛感しました。

コンビ株式会社(本社:東京都台東区 代表取締役社長:小堀英次)は、避難所に持参する赤ちゃん用グッズとして子育て世帯に意識されているアイテムの実態把握のため、災害時の赤ちゃんとの避難にまつわる「防災に関する意識調査」を2023年12月に実施しましたのでご報告します。

本調査結果では、乳児向けのお世話グッズにおいて、紙おむつや着替え用の衣類、ミルクや離乳食等は85%以上の方が避難所へ持参すると選択したの 비해、折りたたみ簡易ベッドなどの寝具を選択した人はわずか7.8%に留まりました。これは赤ちゃん連れでの避難を想定したときの膨大な荷物量から「寝具までを持参できない」と考えた現状がうかがえます。

しかし、2020年に消費者庁から、ベッドからの転落や窒息などの事故を招かないように「0~1歳時の赤ちゃんは、大人用ベッドに寝かせるのではなく、できるだけベビーベッドに寝かせるように」との注意喚起が出されています。これは、災害発生時の避難所においても同じ状況を整える必要があり、実際にこども家庭庁防災業務計画(令和5年4月版)の、第18条育児用品の確保の具体例にも「ベビーベッド」が挙げられています。

また、乳児を寝かせられる「赤ちゃん用簡易段ボールベッド」の存在自体を知っていたのは、全体のわずか約4%とまだ世間一般に認知されていない事実がわかりました。一方で、避難先に「赤ちゃん用簡易段ボールベッド」があったら使いたいと約79%が回答、さらに約63%が避難場所にある(備蓄されている)とわかったら「避難するきっかけになると思う」と回答しました。

【調査結果のまとめ】 ※詳細は2ページ目に記載

1. 避難所へ持参する乳児用グッズとして最も多かったのは紙おむつで、97.3%が持参すると選択。
2. 避難所へ持参する乳児用グッズとして折りたたみ簡易ベッドなどの寝具を持参すると選択した人はわずか7.8%。
3. 乳児を寝かせられる防災グッズ「赤ちゃん用簡易段ボールベッド」の存在自体を知っていたのはわずか4.1%。
4. 避難所に「赤ちゃん用簡易段ボールベッド」があったら、約79%が使用したいと回答。
5. 約63%は「避難所に赤ちゃん用段ボールベッドがあることが分かったら避難しようと思うきっかけになる」と回答。

今回の調査結果をふまえ、コンビウイズ株式会社では、乳児連れの避難者の寝床への配慮を正しく理解し、公助で準備を行うきっかけになることを願って、1月17日で阪神淡路大震災から29年を迎えた兵庫県神戸市へ赤ちゃん用防災備用品段ボール製簡易ベッド「ベビーにこつ」を2023年12月20日に寄贈しました。



【左】神戸市危機管理監 筒井 勇雄
【右】コンビウイズ(株) 代表取締役社長 松浦 康詞

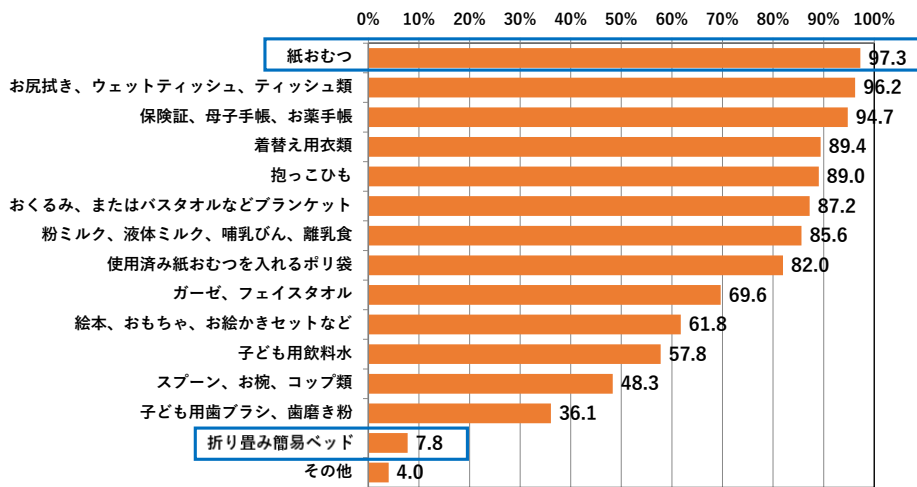
29年前の震災当時に子どもだった方や震災未経験世代が子育てに携わる今、震災経験からの学びをいかして、すべての避難者が避難所で安心して過ごせる環境整備を目指す神戸市の考えに賛同し、今回の寄贈に至りました。

コンビウイズでは今後も、赤ちゃん連れが避難しやすい環境整備のサポートができるよう、普及啓発活動に努めてまいります。

【調査結果の詳細】

- 1. 避難所へ持参する乳児用グッズとして最も多かったのは紙おむつで、97.3%が持参すると選択。**
2. 避難所へ持参する乳児用グッズとして折りたたみ簡易ベッドなどの寝具を持参すると選択した人はわずか7.8%。

Q. 1歳未満の赤ちゃんを連れて避難所へ行くとした場合、持参する赤ちゃん用のグッズは？(N=876,複数回答)

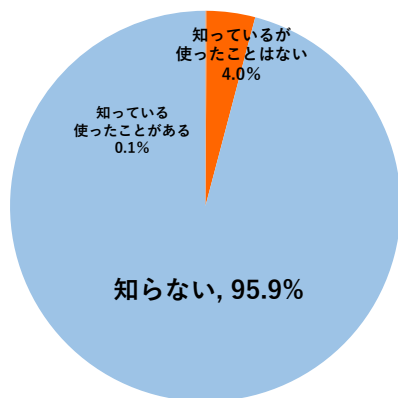


日頃の外出時から持参することが多い、着替え用の衣類や食事に関するアイテムにおいては、緊急時の避難グッズとしても持参意識は高く、紙おむつは97.3%の方が選択しました。

しかし、大半が家の中で使用するベッド等の寝具に関するアイテムは、わずか7.8%に留まりました。赤ちゃんを連れて避難することを想定したときの膨大な荷物量から、寝具までを持参するのは困難だという判断がされたものと想像できます。

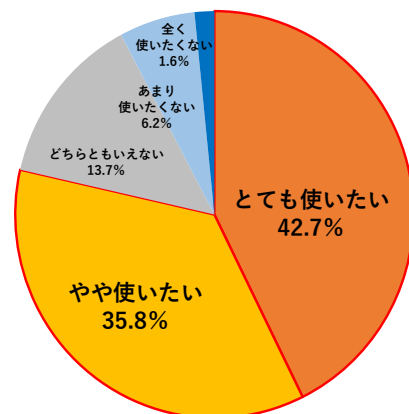
3. 乳児を寝かせられる防災グッズ「赤ちゃん用簡易段ボールベッド」の存在自体を知っていたのはわずか4.1%。

Q. 避難場所で、乳児を寝かせられる赤ちゃん用簡易段ボールベッドを知っていますか？(N=876)



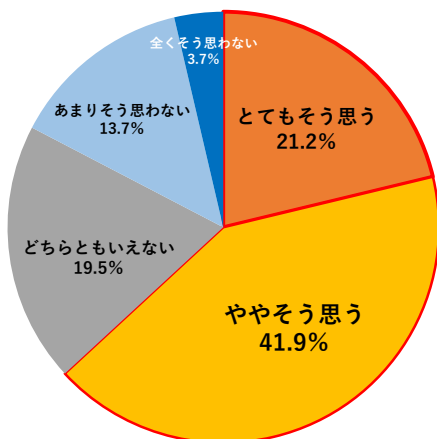
4. 避難所に「赤ちゃん用簡易段ボールベッド」があったら、約79%が使用したいと回答。

Q. 避難場所に赤ちゃん用簡易段ボールベッドがあったら、使用したいですか？(N=876)



5. 約63%は「避難場所に赤ちゃん用段ボールベッドがあることが分かったら避難しようと思うきっかけになる」と回答。

Q. 赤ちゃん用簡易段ボールベッドが避難所にあると分かたら避難しようと思うきっかけになりますか？(N=876)



約96%が「赤ちゃん用簡易段ボールベッド」の存在を知らないと回答するも、避難場所にあつたら約79%が使用したいと答えました。さらに約63%は、赤ちゃん用段ボールベッドが備蓄されていることがわかれば、避難しようと思うきっかけになると回答しました。

《調査の概要》

調査目的 : 避難場所に持参する赤ちゃんの防災に必要なグッズとして意識されているアイテムの実態把握
 調査対象 : 末子0か月～2歳頃までのお子さまがいる方 876名
 調査エリア : 全国
 調査方法 : インターネット調査
 調査期間 : 2023年12月12日(火)～12月17日(日)

■避難所に備えてほしい赤ちゃん用コット

Combi ひなん所用コット HB11 ベビーにこっと(3 個入)

赤ちゃんのためのスペースが確保出来る段ボール製簡易コット(※)。

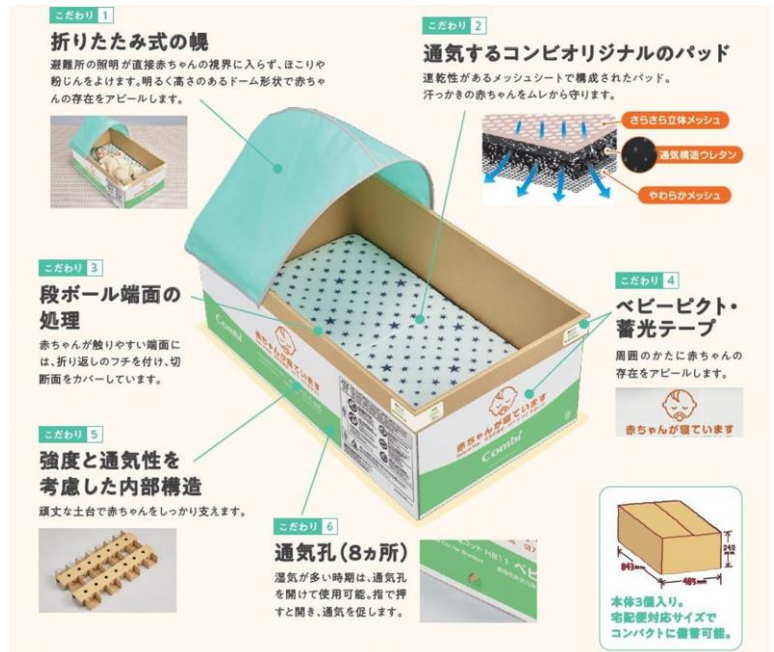
(※)コットは、赤ちゃんを寝かせるための小さなベッドを指します。

工具不要で組み立てられ、3 個入ながら宅配便対応サイズ内に収めたことで、コンパクトに備蓄が出来ます。

価格(税込) : 49,500 円

製品詳細ページ : https://www.combiwith.co.jp/biz/shelter_babycot.html

販売会社 : コンビウズ株式会社



【参考資料】

- 令和2年11月13日 消費者庁 : [0～1歳児のベッドからの転落事故に御注意ください!](#)
— 頭部を負傷する事故に加え、窒息事故も報告されており、ベビーベッドの安全基準が見直されています —
転落事故防止のため、0～1歳児は、大人用ベッドに寝かせるのではなく、できるだけベビーベッドに寝かせましょう。
- 令和5年4月1日 子育て家庭庁長官決定 : [子育て家庭庁防災業務計画](#)
(育児用品の確保)
第18条 成育局は、哺乳びん、粉(液体)ミルク、ポット、ベビーベッド、紙おむつ、幼児用肌着等の育児用品の確保のため、関係省庁及び庁内関係部局との連携の下に関係団体及び関係業界に対し、供出を要請する。

[取材のお申込みはこちら](#)

- ◆ 報道各位からのリリースに関するお問い合わせ先 : コンビ株式会社 経営企画室 広報 青山
TEL : 03-5828-7607 / FAX : 03-5828-7662 / メールアドレス : pr@combi.co.jp
- ◆ 調査結果・製品に関するお問い合わせ先 : コンビウズ株式会社
本社/東日本・首都圏営業所 TEL : 03-5828-7631 FAX : 03-5828-7630
西日本営業所 TEL : 06-6942-0384 FAX : 06-6942-0398